

発売中  
100円

憲法9条を変えて、  
「戦争する自衛隊」にして  
いいのですか（憲法会議・発行）

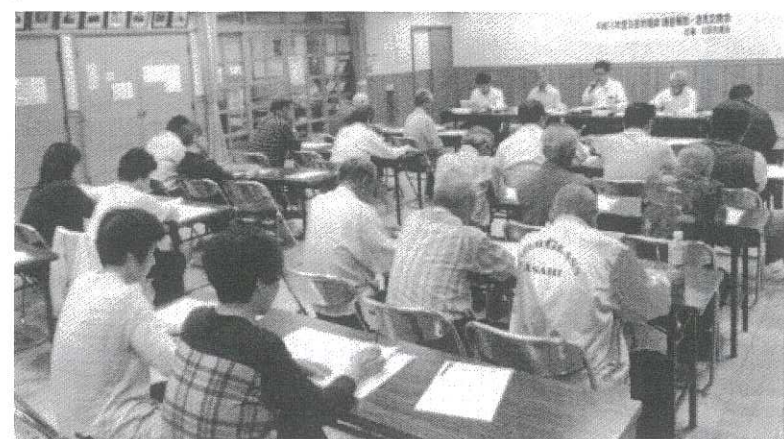
# 議員の活発な議論を望む声

市議会  
意見交換会

## 清掃センター周辺の住民から強い反対意見

市議会1班（班長・日隈知重）は14日、五和公民館で議員と住民の意見交換会を開催。新清掃センターの建て替え候補地の周辺住民（緑町、内河町）から、反対意見が出されました。

補地になるのはわかる。まず市がやるべきは、地元の意向をくんだ施設になるか説明すること。なぜ議会がこのことを問題にしないのか」と疑問を投げかけました。



▲ 議会報告を聞く五和地区住民（5月14日）

緑町の住民は「平成8年にダイオキシン問題が発生した。近衛神社では、まだ高い数値。28年間も我慢して、次は移転を市にお願いしてきた」と訴えました。「建設費は約60億円と報道されているが、環境アセスメントを出して説明しないのはおかしい」と、市のやり方を批判しました。内河町の住民は「30年前に建設反対の看板を上げた。今回2回目の看板を上げた。西風で全部の煙が来る。生活するのにごみを出す。（清掃センターの）必要性はわかるが、今度は場所を変えてくれ」と反対意見を述べました。

石井町の住民は「ここが第1候

日隈市議は「昨年も、その前も意見交換会で、清掃センターを移転してほしいという地元の声を聞いてきた。一般質問や委員会審議の中で、市長や担当課に伝えてきた。地元の理解のないまま候補地にかかるのは考えられない。執行部と大いに議会で議論したい」と答えました。緑町の住民は「周辺500m以内で日田梨をつくっている農家が3軒ある。市場、市民生協やエフコープには、残留農薬や異物を調べる機械がある。抜き打ち検査で引っかかったら出荷停止。住民のことを考えてほしい」と訴えました。

▲ 玉川交差点で宣伝（14日）

# 愛知県から議員、職員が来る

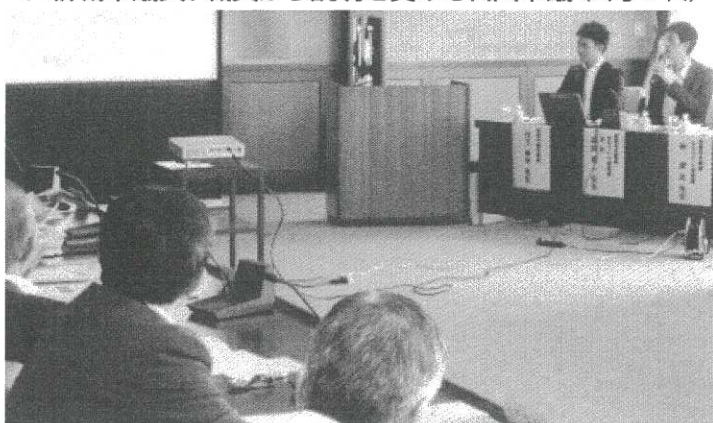
新城市の  
若者議会

## 実現に向け市議全員で研修

日田市議会は16日、愛知県新城市の議員、職員を招き研修会を行いました。市議会は、3年前から若者が活躍するまちづくりを実現するため、若者議会の設置や若者政策の予算化をめざしています。

新城市は2015年4月、若者条例を制定し、市長の附属機関として若者議会をつくりました。若者自らが政策と予算を市長に提案し、図書館の一部改修や若者健康づくり、防災事業など、毎年1千万円の事業を行っています。講師の竹下修平氏（27歳）は、第1期若者議会議長を務め、昨年10月の市議選で初当選しています。一般社団法人・若者議会連盟を立ち上げ、若者政策の充実をサポートしています。若者が活躍する可能性を大いに語りました。

▼ 新城市議員、職員から説明を受ける日田市議（5月17日）



## 隠ぺい、改ざん、ねつ造、口裏合わせの 安倍内閣は早期退陣せよ

九州沖縄  
いっせい宣伝

